

平成25年 国内生産は過去最高155万ト



ライフフーズ(株) 代表取締役社長 矢野 良一氏

中国肉販が急速に拡大

武漢で鍋具材の団子など生産

ライフフーズの前社長が、急速に拡大する中国肉販の現状を、武漢で鍋具材の団子など生産している様子について、期待を込めてインタビュー。

矢野 前社長は、中国産肉の品質が向上していること、中国産肉の需要が増えていること、中国産肉の価格が安定していることなどを指摘し、中国産肉の活用を促している。

矢野 中国産肉の品質が向上していること、中国産肉の需要が増えていること、中国産肉の価格が安定していることなどを指摘し、中国産肉の活用を促している。

平成25年の冷凍食品生産統計
生産数量 155万ト(前年比5.0%増)
生産金額 6774億円(前年比1.9%減)
工場数 513工場(前年比10工場減)

平成25年の国内生産数量上位20品
1 うどん 170,080ト(前年比6.9%増)
2 コロッケ 164,004ト(前年比1.1%増)
3 ハンバーグ 69,530ト(前年比0.6%増)
4 ピラフ類 59,119ト(前年比0.1%増)
5 炒飯 57,473ト(前年比13.4%増)
6 スパゲッティ 55,501ト(前年比31.3%増)
7 キョウサ 55,015ト(前年比15.4%増)
8 カソ 52,231ト(前年比9.6%増)
9 卵製品 46,812ト(前年比10.0%増)
10 ラーメン類 42,684ト(前年比14.4%増)
11 天ぷら、お好み焼 39,147ト(前年比14.8%増)
12 グラタン 38,525ト(前年比10.1%増)
13 シュウマイ 37,591ト(前年比3.7%増)
14 ミートボール 33,768ト(前年比4.6%増)
15 ポテト 32,791ト(前年比1.6%増)
16 春巻 23,705ト(前年比12.3%増)
17 中華まんじゅう 22,331ト(前年比0.4%増)
18 おにぎり 20,736ト(前年比13.7%増)
19 ひざ 18,045ト(前年比6.0%増)
20 洋菓子 16,693ト(前年比6.0%増)



自然解凍調理冷凍食品の生産・消費が伸び続けている。自然解凍調理冷凍食品は、消費者の要望に応じた製品が次々と登場している。

うどんがコロッケ抜き1位に
家庭用けん引、構成比40%台に
国内冷凍食品協会が平成25年(1~11月)の冷凍食品国内生産額を10日発表した。生産額は前年比5.0%増の155万ト、4年連続増となった。金額は6774億円、1年減となった。金額(工場出荷額)は5.3%増の7440億円、3年連続増となった。金額(1ト当たり)は7400円、前年比1.9%減となった。金額(1ト当たり)は7400円、前年比1.9%減となった。

市販冷凍食 県外で本格発売

外市場をターゲットとした市販用冷凍食品の販売を強化する。市販用冷凍食品の販売を強化する。市販用冷凍食品の販売を強化する。

輸入調理冷凍食品は円安で金額2ケタ増

日本食品工業会が発表した。輸入調理冷凍食品の金額は前年比2ケタ増となった。円安の影響で、輸入調理冷凍食品の金額が増えている。

解凍乱麻

冷凍食品の解凍方法が乱雑になっている。消費者は正しい解凍方法を知りたい。冷凍食品の解凍方法が乱雑になっている。

アジア最大級を誇る、「食の技術」の総合トレードショー 「食」ビジネスの新しい可能性が見えてくる。

FOOMA JAPAN 2014 International Food Machinery & Technology Exhibition. 最新の製品・技術・サービスが集結! 注目の講演会: FOOMA ビジネスフォーラム. 食品ビジネスのヒントを学ぶ. 山本 益博氏 山本 益博氏 山本 益博氏. 会場: 日本食品工業会 1階 レジションホールA. 最新製品・技術・サービスが集結!